

## 事前予約制 合同無料相談会

☎ 広報広聴課市民相談室 ☎ 内線1145

市が実施している弁護士、司法書士、社会保険労務士などの各専門家による相談会を、休日に同じ会場・時間帯で行います。今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事前の予約が必要です。

日時 7月5日(日) 9:00～11:00  
 会場 市議会棟(市役所敷地内)  
 実施相談 法律相談、司法書士相談、人権相談、行政相談、社会保険労務士相談、行政書士相談  
 定員 先着40人  
 申込 6月18日(木) 8:30から電話予約受付開始  
 ※予約受け付けは平日 8:30～17:15

## 中止・延期になった事業

### ◆ ユーバ市派遣・受け入れ事業中止

☎ 秘書課 ☎ 内線 1111

以下の事業は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、令和2年度の実施を中止します。

- ▶ 姉妹都市米国カリフォルニア州ユーバ市への市民派遣(例年10月下旬に実施)
- ▶ ユーバ市からの市民訪問団受け入れ(例年2月中旬に実施)

### ◆ 取手市サタデースクール「とりさた」開催延期

☎ 指導課 ☎ 内線 2043

例年6月から実施している、市内小学校5・6年生を対象とした取手市サタデースクール「とりさた」は、6月からの開催を見合わせます。開催時期を変更して実施できるよう、現在検討しています。

### ◆ 「松之丞改め六代目神田伯山独演会」来年に延期

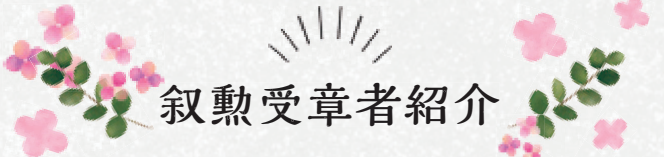
☎ (公財)市文化事業団 ☎ 73-3251

6月14日(日)に開催を予定していましたが、以下の日に開催を延期しました。既に購入したチケットは延期後も有効です。大切に保管し、振替公演当日にお持ちください。

#### ▶ 振替公演日

日時 令和3年6月27日(日) 14:00開演(13:30開場)  
 会場 市民会館

◎チケットの払い戻しは令和2年7月31日まで行っています。詳しくはお問い合わせください。



## 叙勲受章者紹介

### 令和2年度春の叙勲

- 瑞宝中綬章  
 矢野進一さん(70) 新取手 元国土交通省大臣官房審議官
- 瑞宝小綬章  
 わたなべ 渡部春樹さん(70) とがしら 戸頭 元土木研究所研究室長
- 瑞宝双光章  
 たかお 櫻井敬夫さん(75) 東 元日本郵政公社職員(特定郵便局長)
- 瑞宝単光章  
 かつゆき 須田勝之さん(74) 井野台 元JR東日本株式会社 我孫子駅長

### 危険業務従事者叙勲

- 瑞宝双光章  
 よしのり 加納義謙さん(75) 光風台 元警視庁警部  
 田代格雄さん(72) 宮和田 元警視正
- 瑞宝単光章  
 ひさなが みつる 嶋野正明さん(72) 井野 元警視庁警部  
 ひまな 久永 満さん(68) ゆめみ野 元農林水産技官
- 瑞宝単光章  
 はじめ 鈴木 一さん(72) 野々井 元警視庁警部  
 堀内 剛さん(72) 吉田 元警視庁警部
- 瑞宝単光章  
 あくつ 環 典夫さん(72) 駒場 元警視庁警部補  
 滝口清治さん(72) 白山 元警視庁警部  
 高野一郎さん(72) 新町 元警視庁警部  
 今永 貞さん(68) 駒場 元東京消防庁消防司令

※本人のご希望により掲載していない方がおります

## 市長 Mayor's column コラム

おくやみデスクを  
開設します



取手市長

藤井信吾

身内の方が亡くなられた方々のご負担を少しでも減らすため、取手市では7月1日から本庁舎1階に「おくやみデスク」を開設いたします。

大切な方がお亡くなりになったとき、ご遺族は深い悲しみが癒える間もなく、死亡届の提出から始まり、健康保険や年金、税などについての必要な手続きを行わなくてはなりません。これらの手続きは、生涯のうちに何度も発生するものではないため、慣れない手続きでもあります。

そこで、ご遺族の方のご負担を最小化するために、市役所本庁舎1階にこれらの手続きを1カ所で済ませられるワンストップの窓口「おくやみデスク」を開設するものです。これまでは、死亡届が提出されると、ご遺族宛てに一

般的に必要な手続きの種類とご用意いただくものを記載した一覧をお渡しして、ご遺族は、それを基に市役所の中の5・6カ所の担当課を回り、それぞれの手続きをしていただいております。

新しい方式では、死亡届の受理後、1週間後をめどにご遺族にとって必要な手続きを各課で調べた上で、市役所から案内をお送りします。ご遺族は予約を取って「おくやみデスク」を訪れていただければ、必要な手続きを1カ所で一度に済ませることができます。所要時間は1～2時間を目標としております。

今回のサービスは、本年4月20日付けで受け付けた市長への手紙での要望に対応するものです。要望された市民

の方からの手紙には、「自治体の「おくやみ窓口」改善」と題する毎日新聞記者の目の記事(毎日新聞4月8日付け)が添付されておりました。

記者の主張の中には「死後の手続きでの市民の不満は大きく二つあり、①同じことを何度も書かされる、②窓口をたらい回しにされる。…解決するにはまず、専門の窓口をつくり、そこで必要事項を聞き取る。それを係がパソコンに入力し、情報を関係各課で共有する。あとはその故人に関係する課に即時伝達する仕組みがあれば」とあり、そのとおりの仕組みを開設いたしました。

ご遺族の方々のご負担を、少しでも軽くできればと考えております。お役に立てれば幸いです。